

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	令和4年度第1回松阪市文化センター運営委員会
2. 日時	令和4年7月13日(水) 午後7時00分から午後8時30分
3. 場所	農業屋コミュニティ文化センター
4. 出席者名	(委員) ◎梶 吉広、○中西 幸男、森本 小百合、柴田 実、 牧田 研介、大門 公子 (◎委員長、○副委員長) 6名出席 (事務局) クラギ文化ホール 甚野館長、久保主任、上野主任 嬉野ふ るさと会館 和氣館長、安保 文化課 松葉課長、山本主幹 7名出席
5. 公開・非公開の別	公開
6. 傍聴者数	無し
担当	松阪市川井町690番地 クラギ文化ホール 担当者 : 館長 甚野 浩一 電話 0598-23-2111 FAX 0598-23-2114 e-mail bunka.kai@city.matsusaka.mie.jp

議題

1. 令和3年度自主事業実績、令和4年度自主事業について
2. 令和5年度自主事業候補について
3. クラギ文化ホール改修工事について

議事録

別紙

令和4年度第1回松阪市文化センター運営委員会議事録

日 時 令和4年7月13日(水) 19:00~20:30

場 所 農業屋コミュニティ文化センター

出席者 【委員】梶 吉広、中西 幸男、森本 小百合、柴田 実、牧田 研介、
大門 公子

【事務局】クラギ文化ホール 甚野館長、久保主任、上野主任
嬉野ふるさと会館 和氣館長 文化課 松葉課長、山本主幹

◎議 題

1. 令和3年度自主事業実績、令和4年度自主事業について

令和3年度自主事業については17事業中、6事業を実施し、新型コロナウイルスの影響等により11事業が中止となった。

令和4年度自主事業については、クラギ文化ホールにおいて、夏井いつき句会ライブ、NHKのど自慢等の9事業、農業屋コミュニティ文化センターにおいて、劇団うりんこ公演等の2事業、嬉野ふるさと会館において、ナターシャ・グジーコンサート等の5事業を実施予定。また、現在の基準等を考慮し、基本的に客席制限は設けず実施することとした。

2. 令和5年度自主事業候補について

令和5年度自主事業については子どもたちへの文化機会の提供を基本方針とすることとした。対象を子供・学生向けに特化し、公演ジャンル(コンサート、演劇、伝統芸能等)・公演形式(鑑賞型、体験型、参加型)は幅広く採用することをコンセプトとし、子ども達に様々な文化体験の機会を提供し、多様なニーズをカバーする。また、多種の公演を実施することで、今後も継続的に実施できるような事業も模索していく。新規事業として、主なものとしては、小学生向け・体験型の演劇「劇団うりんこナゾトキシアター+小学校は宇宙ステーション公演」、乳幼児向けの絵本コンサート「そっとそおっと」、中・高校生向けとして吹奏楽部の子どもたちに知名度があるサクソフォニスト上野耕平氏のリサイタル等を候補として挙げた。また、新しい文化支援企画として、松阪ダンスフェスティバルを企画する。実行委員会を立ち上げて実施予定。また、松阪の第九やワンコインコンサート、中部フィルハーモニー交響楽団による特別演奏会等、定番化している事業も継続し、地域文化事業として定着させることで、集客の安定化を図り、地域の文化振興の発展を促す。

主な議論・意見内容

○令和5年度自主事業候補について

- ・方針が明示され、何をしようとしているのかが非常にわかりやすくよい。年度終わりに総括をし、結果を反映できるようにしたい。今後も方針を明示して行っていくとよい。
 - ・思い切ったコンセプトを提示していてよい。謎解きなどは今流行っており、タイムリーでよいと思う。
 - ・子ども向けをメインに持ってきており、特に乳幼児向けの事業があるのは魅力的でよい。また、松阪ダンスフェスティバルは現在三重高校がテレビに出る等して人気があるのでぜひ進めてほしい。
 - ・候補が多様性に富んでおり、過去に委員が提案していたことを良く考慮している。
 - ・子どもに焦点を合わせることがはっきりしており、未来の子ども達に文化機会を提供する、これは大変よいこと。加えて、松阪にはクラシックギターや三重高校のダンスなど、全国クラスの高いレベルのものがああり、そういった地元にも既に存在するものを活かしていい事業を実施していくべきではないか。
- ・多くの賛同意見をいただいたこともあり、現在の方針ですすめていくこととしたい。また、クラシックギターやダンスなど、松阪で盛んな文化ジャンルに関係した事業も候補として検討していきたい。**

3. クラギ文化ホール改修工事について

築40年が経過したクラギ文化ホールについて、長寿命化を目的とした大規模改修を実施する予定。改修内容は屋上・外壁等の防水工事、特定天井の耐震化工事等。改修方法は設計、施工を一括発注するDB方式（デザインビルド方式）で行う。令和4年度中に要求水準書を作成し、事業者を公募し決定する予定。改修規模は総額約16億円規模を想定。改修時期は令和5年4月1日～令和7年3月31日。ただし、最初の令和5年4月1日～9月30日までの6ヶ月を設計期間とし、工事に伴う休館は令和5年10月1日～令和7年3月31日までの18ヶ月を想定。

主な議論・意見内容

○クラギ文化ホール改修工事について

- ・座席数の変更はあるか
- ・座席数は市の内部でも検討したが、基礎の段階から作り直す必要があり費用が高額となる。まず直さなければいけない所を優先的に行いたい。座席シートの張替えや座席の故障箇所など、最低限の修繕は実施する。**